

令和5年4月

県内初!

# 「つちうら認知症バリアフリー宣言」 をしました!

令和7年には、高齢者の約5人に1人が認知症になるといわれています。認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっています。

本市では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、「**住み慣れた地域で暮らし続けていける、認知症バリアフリーの取組が推進されているまち つちうら**」を、目指すべき姿として掲げ、市民・社会・行政が一体となって取り組むことを宣言しました。

みんなが暮らしやすいまちづくりについて、考えてみませんか。

問合せ 高齢福祉課(☎826-1111 内線2501)



## つちうら認知症バリアフリー宣言

- 1 認知症を正しく理解し、自分の事として考え、認知症の人や家族の想いに寄り添った行動ができる人を増やします。
- 2 周囲や地域の理解や協力の下、認知症の人もそうでない人も、誰もが持てる力を発揮して、自分らしく暮らせる地域づくりを進めます。
- 3 認知症の人や家族の声及び視点を重視しながら、市民・社会・行政が一体となって、認知症に備え、対応できる体制整備を進めます。
- 4 認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるよう、認知症に関する情報発信及び情報共有ができる仕組みづくりを進めます。



## 宣言記念セレモニーを開催します

日時 5月21日(日) 午後2時から(開場は午後1時)

場所 県南生涯学習センター(ウララビル 5階)  
多目的ホール

対象 市内在住・在勤・在学の方

内容

- ・宣言文唱和
- ・記念講演「認知症専門医の父が認知症になって感じたこと、気づいたこと」

定員 200人(先着順)

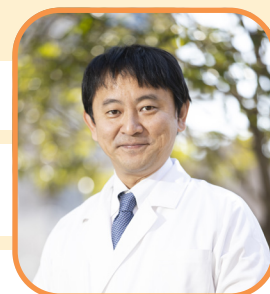
申込方法 電話または右の二次元コードから



問合せ 高齢福祉課(☎826-1111 内線2501)

## 講師紹介

長谷川 洋 さん  
(長谷川診療所 院長)



- ・2003年～ 聖マリアンナ医科大学東横病院 精神科主任医長として勤務
- ・2006年～ 長谷川診療所を開院
- ・「長谷川式認知症スケール」の開発者である長谷川和夫医師を父にもつ